

## 目標達成計画

作成日: 令和 2年 7月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-6	「身体拘束ゼロ」を目指し、常に職員が意識した行動をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の行動を制限することはない</li> <li>・センサーマット使用者に対し、モニタリング評価を行う</li> <li>・スピーチロックに対し、職員が互いに気を付けるよう目標を持ち、見直しをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束について勉強会を1回/月継続する</li> <li>・工夫により、センサーマットを使用しない方法を検討する</li> <li>・日頃より職員同士言葉使いを注意し合える関係を築く</li> </ul>	12ヶ月
2	I-2	コロナ禍の中でも、できる地域との交流を企画し、より多くの方々との交流を楽しめるようにしたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで行って来た関わりを継続しながら、新しい交流を持つ機会を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒島小学校、安来三中に雑巾各50枚寄贈</li> <li>・交通安全のマスコットを運転者会を通じて配布</li> <li>・地域版広報誌を継続配布</li> </ul>	12ヶ月
3	Ⅲ-33	「看取り」に対し、職員間で話し合い、受け入れる準備をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用者家族に対し、終末期の在り方について意思確認し、ソレイユグループホームでできる事を説明する</li> <li>・職員の不安を解消する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取り研修会に参加する→職員に伝達</li> <li>・その時期の予測をすると共に、主治医を交えてシミュレーションをする</li> </ul>	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。